



Chatter in Japanese セミナーアンケート

今日のセミナーのテーマである **Social Prescribing** 社会的処方について、以下のアンケートにご協力頂ければ幸いです。

- 1) 孤立 (Social Isolation) や孤独 (Personal Loneliness) は、深刻な社会問題化していますが、個人として感ずる事がありますか？

(回答)

A さん：自分としては、感じる事は無い。

B さん：はい。

C さん：前に手術をして全治するのに予定より時間が掛かり、その時孤立感・孤独感を味わいました。早く良くなって普通の生活に戻らなければと思いました。

D さん：はい。

E さん：日本に於いては、高齢者の超高齢化が進む中で、孤独死が深刻化しているのを感じ、英国に於いては社会的処方が制度化される背景となっている社会的孤立が自分事として感じています。

- 2) 近所の人、友人、仲間、家族などと、どのような交流を心掛けていますか？

(回答)

A さん：積極的には付き合っていないが、困った事が有ればすぐにアドバイスをくれ、助けてくれる。

B さん：定期的に連絡しています。なるべく会う様にしています。

C さん：妹達とは LINE で繋がっています。近所の人とは交流は有りません。隣に主人の弟が住んでいます。古い友人とは年 1~2 度電話で話します。

D さん：挨拶や声を掛けたり心掛けています。友人や家族とは SNS で連絡をこまめに取ります。

E さん：家族全員が英国に居り緊密の他、近所の人々とは子供の世代の交流の輪に加わる事が有ります。私個人として Community との交流に貢献する方法を思案中です。

- 3) 自分で実践している人と繋がる方法、更には地域等への貢献について、アイデアや実践例があれば、ご紹介ください。

(回答)

A さん：

B さん：趣味の繋がりで色々なグループに参加しています。

C さん：今まで考えた事は有りません。

D さん：スーパーや公共施設のポスター、口コミ、オンライン広告など。

E さん：有難い事にスマホ・終活セミナー・テニス、及び Chatter in Japanese での交流が有難い存在です。地元では手始めに近隣の道路をクリーンにする活動を始めた所です。

本日の議論を踏まえて、下記の観点について、皆さんの感想をお聞かせください。

4) 「社会的処方」(Social Prescribing) というアプローチを聞かれた事がありますか？ 「社会的処方」と仲間との交流会の共通点と相違点について、感想をお聞かせください。

(回答)

A さん：Social Prescribing という言葉は初めて知ったので感想は無い。

B さん：はい。Social Prescribing を通じて新しい繋がりが生まれると思います。

C さん：社会的処方と言う制度があると初めて知って良かったと思いますが、今は必要を感じて居りませんので質問の内容が深すぎてお答え出来ません。

D さん：社会的処方という言葉は初めて耳にしました。仲間との交流会はお互い良く知っている者同士との繋がりと理解します。

E さん：2013 年に NHS England が発表したガイダンスを契機に Social Prescribing について関心を持ち始めました。仲間との交流会は個人の発意が主導するが、Social Prescribing は社会的に恵まれない人々を包括する制度的支えとしての意義が大きいと思います。

5) 社会的処方によって、人々の繋がりにによって支え合い、孤独 (Personal Loneliness) を改善する社会的試みの重要性について、お考えをお知らせください。

(回答)

A さん：教会や Community Centre で様々な活動を人々に参加を呼び掛けているので、地域の新聞等をこまめに調べれば良い。

B さん：良いと思います。私は基本的には 30 年前からソーシャルワーカーでやっていた事です。

C さん：孤独を改善する社会的試みの重要性についてとても有難いと考えて居ます。

D さん：海外生活はより孤独になりがちなので、とても重要だと思います。趣味のサークルやボランティア活動など。

E さん：Social Prescribing に拠る人との繋がりはどの年代にとっても駆け込み寺的に重要と思います。

6) 他方、個々人それぞれが、Only One の人生を全うする上で、個人が内なる繋がりを求める重要性、良いアプローチの方法があれば教えてください。

(回答)

A さん：

B さん：心を開く事。

C さん：

D さん：日記や手紙などが自分を支えるツールになると思います。

E さん：高齢の身になって人々との交流によるエネルギーの受容と共に、Only One の自己の人生を走り切る上で内面に於ける平安の希求が不可欠との思いを深めています。

7) 人生の意味を照らし出す処方箋は、他者との繋がりと自分の内なる繋がりの双方によって得られるのではないのでしょうか？この点について何かご意見はありますか。

(回答)

A さん：

B さん：同意します。

C さん：同感です。他者との繋がりが有るからこそ道が開くケースが多いのではと思います。

D さん：一人では生きて行けないので、他者との繋がりは欠かせないと思います。一方で自己内面の強さも必要です。バランスが難しいです。

E さん：この点は、上記の 6) の自分のアプローチと表裏で、ロンドンの Social Prescribing のモデル事例で彼らのモットーである他者との繋がり、自己の内面の繋がりは興味深いです。

皆さんにはアンケートにご協力頂き、大変有難う御座いました。
